

# 教育研究業績書

2020年10月27日

所属：演奏学科

資格：講師

氏名：松浦 伸吾

研究分野	研究内容のキーワード
作曲・音楽理論	作曲 編曲 楽曲分析 音楽理論 楽器 生涯音楽学習
学位	最終学歴
修士（音楽）	大阪音楽大学大学院

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 能動的探究活動態度の育成	2019年4月～2020年3月	音楽学部専攻科授業「作品研究」にて実施。マインドマップ思考法を活用。受講者が興味を示す音楽作品（ジャンルは問わない）をキーワードとして中心に据え、それに関連する事項を多数見つけ書き出すことでマップを広げる。「ひとつの興味」は無数の興味へのスタート地点である」ということを体験から獲得してもらうことを目的とした。「グラフィック」として現れたマップを「言語化」するためのレポート課題を実施。
2. 音楽から考える「多様性」と「私」	2019年4月～2019年7月	共通教育科目「学び発見ゼミ」において実施。唯一の“存在”である「私」と、私以外の様々な“存在”が（結果として）共存している「多様性」を有した状況（または環境）との関係を、世界中に存在する音楽の様々な“かたち”の紹介を多数含めつつ、眺めていく。“発見”することの喜びを知るきっかけとなれば、と進めた次第。「好奇心とは何か？」という副主題の存在も重要であった。
3. 1年次ソルフェージュ教育の実践	2018年4月～現在	音楽人が持つべき基礎能力である「音感」「リズム感」「読譜力」「表現力」等の育成、および能力のさらなる向上を目指す。学生それぞれにおいて得意な内容または苦手な内容があるということを理解した上で、きめ細やかな指導を行っている。
4. 2年次ソルフェージュ教育の実践	2018年4月～現在	音楽学部1年次授業『ソルフェージュ I』をより発展させた内容。和声感の伴った視唱能力の育成を主としつつ、聴音（単旋律、副旋律および和声）を定期的に行うことで音感のさらなる向上を促す。課題は主に教員が制作したものを使用。視唱課題においては過去の名曲の断片を引用することが少なくない。様々な音楽作品を体験を通して知るきっかけを与えるための方法である。
5. 楽曲分析方法の指導	2018年4月～現在	音楽学部演奏学科3年生の授業『楽曲研究』にて実践。楽譜や音源から読み取ることのできる様々な内容を掴むための態度や方法を様々な資料をもって説明。①全体を見渡す②細部を凝視する③全体と細部を比較しつつより深い理解に向かう、という3つの段階を大事にしている。学生が日々取り組む演奏研究に直結する授業内容を心がけている。
6. 音楽理論の指導	2018年4月～現在	音楽学部1年次授業『和声法』および2年次授業『旋律と和声』にて実践。楽譜の読解および楽曲構造の理解において重要である楽典と機能と和声法の確実な習得のために「授業内における丁寧な説明」「質疑応答の活性化」「提出課題の詳しい添削」という3点を重視している。
7. 自発的学習態度の育成	2018年4月～現在	音楽学部2年次授業『2年次演習』における第1回～第5回を担当。1年次に学んできた音楽理論、西洋音楽史およびソルフェージュの総復習。学生は様々な課題に取り組んだ後に自らが採点を行うことによって理解度を確認。自発的学習への意欲の向上を目的としている。
8. 作曲法および編曲法の指導	2018年4月～現在	音楽学部応用音楽学科4年次授業『作・編曲法』にて実践。楽曲創作の単元に入る前の内容として、楽曲分析方法の簡単な説明およびその演習を比較的多く扱っている。旋律・リズム・和声などの研究より作家の意図や方法を学生に考えさせることを目的としている。過去に現れた様々な表現内容や価値を模倣し応用することが、作曲・編曲実践における初期段階の学習において最も効果的であると考えている。
9. 音楽理論の指導	2017年4月～現在	大阪音楽大学の授業。1年生の和声学を扱う。授業内容の復習として計10回の宿題提出を課しており、詳しい添削を行うことで学習者それぞれにきめ細かい指導を行う。学生ひとりひとりの理解度を把握することに努めている。
10. 「楽器体験コーナー」の設置	2008年4月～2013年3月	大阪音楽大学音楽博物館にて実施。ヴァイオリン、ミュージカルソー、ウイングラス等を含めた30点程度の楽器を「体験コーナー」に配置。学生や来館者への楽器演奏指導を行った。楽器演奏経験の無い来館者にとってははじめての演奏体験となったようである。楽器との新たな出会いを提供することができたと考えている。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
11. 体験型音楽教育プログラムの実施	2008年4月～2013年3月	大阪音楽大学音楽博物館にて実践。展示楽器による演奏を中心とした説明を行い、演奏の容易な楽器については学生や来館者に実際に触れてもらう機会を用意した。楽器のおもしろさを演奏表現を含めて知ってもらうことができたと考えている。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 合奏指導実践のための楽譜	2019年4月～現在	演奏学科4年次授業「合奏指導法」において使用。受講者の1名が合奏指導の実践を行う際に、他の受講者および教員が演奏する楽譜を作成している。
2. 視唱の教材	2018年4月～現在	音楽学部1年次授業『ソルフェージュⅠ』および2年次授業『ソルフェージュⅡ』において使用する視唱課題を作成。『ソルフェージュⅡ』における課題の内容は過去の名曲における主題の一部を引用。歌唱練習の後に引用元の楽曲を紹介（タイトルと音源）。
3. 楽典の資料	2018年4月～現在	音楽学部2年次授業『2年次演習』における楽典の総復習で使用。学生の学習意欲を刺激し理解を促すための資料。「音階」「五度圏と近親調」「音程」「和音」「和声」等。
4. 楽曲分析におけるワークシート	2018年4月～現在	音楽学部演奏学科3年次授業『楽曲研究』において使用。文書作成練習および授業内討論のための資料として。
5. 授業外学習のための和声課題の作成	2018年4月～現在	「和声法AB」および「旋律と和声AB」において使用。学習の進度に沿って、宿題として適宜配布。添削の後返却。
6. 作曲および編曲の方法および作業手順の紹介のためのワークシート	2018年4月～現在	音楽学部4年次授業「作・編曲法」において使用。「①どのようなことを考え、②どのような方法を用いて、③どのような順序で作業を行うことで、作曲または編曲を進めるか」ということを、段階を持って示すように工夫。受講者自身が創作活動に応用させることはもとより、「他者に作曲や編曲の方法の概要を教える（または伝える）」際に資料として活用できるように、という内容も含めている。
7. 聴音の教材	2018年4月～現在	音楽学部1年次授業『ソルフェージュⅠ』および2年次授業『ソルフェージュⅡ』において使用する聴音課題を作成。
8. 楽典の課題	2018年4月～現在	音楽学部2年次授業『2年次演習』における楽典の総復習で使用。学生それぞれに楽典の理解度を把握させるための課題と解答を作成。「五度圏と近親調」「音程」「和音」等の内容。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 大阪音楽大学音楽博物館 主催 第33回ミュージアム・セミナー「大集合！擦って鳴らす楽器たち」における研究活動及び講演助手	2013年3月9日	大阪音楽大学におけるアウトリーチ活動の一環。所蔵楽器を演奏付きで紹介する。講演助手として管打楽器の演奏を行う。演奏曲の編曲を担当。
2. 琵琶湖博物館 主催 「音楽博物館の楽器を使ったコンサート～自然を感じる楽器の紹介とメロディ～」における講演	2012年10月21日	大阪音楽大学音楽博物館の協力による。大学アウトリーチ活動の一環。所蔵楽器を演奏付きで紹介する。管打楽器の演奏と編曲を担当。
3. こどものための博物館「キッズプラザ大阪」主催 「こんな楽器見たことない！？音楽博物館がやってくる」における企画・制作及び講演	2011年5月19日および2012年5月28日	2010年度より開始した「実演付移動音楽博物館」（2012年度迄）の活動の一環。大阪音楽大学音楽博物館との共催による。所蔵楽器を演奏付きで紹介し、世界の多様な音楽を就学前児童とその親に触れてもらうことを目的とした。管楽器・打楽器・鍵盤楽器等を担当。演奏楽器数は20を超える。
4. 岸和田市・岸和田文化事業協会 主催 レクチャーコンサート「アルゼンチン・タンゴの華」における制作及び講演助手	2011年1月29日	大阪音楽大学音楽博物館の企画。制作を担当。音楽人類学者・西岡信雄氏の助手として、フリーリード楽器の説明及び演奏を行う。担当した楽器はリードオルガン・笙・ハーモニカ・ケーン・アコーディオン数点・バンドネオン等。
5. 大阪音楽大学学部1年講義「教養基礎セミナー」特別講師	2010年4月～2012年5月	大阪音楽大学音楽博物館において「世界の音楽および楽器」に関する講義を担当（年間3コマ）。
6. 大阪音楽大学短期大学部1年講義「大音コミュニケーション入門」特別講師	2010年4月～2012年5月	大阪音楽大学音楽博物館において「世界の音楽および楽器」に関する講義を担当（年間3コマ）。
7. 学内インターンシップ実習生への指導	2010年2月～2013年3月	大阪音楽大学音楽博物館にて学内インターンシップ実習生へ立体資料の調査方法を指導し、実習生が進めた調査内容の確認及び評価を行った。
8. 学芸員実習生への指導	2008年9月～2012年9月	大阪音楽大学音楽博物館において学芸員実習生へ立体資料の調査方法を指導し、実習生が進めた調査内容の確認及び評価を行った。
<b>4 その他</b>		
1. 大阪音楽大学短期大学部 非常勤講師（作曲・音楽理論）	2017年4月～2018年3月	「音楽理論Ⅰ」「音楽理論Ⅱ」を担当。
2. 大阪音楽大学音楽学部 非常勤講師（作曲・音楽理論）	2017年4月～現在	「音楽理論Ⅰ」「音楽理論Ⅱ」を担当。
<b>職務上の実績に関する事項</b>		
事項	年月日	概要

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 学芸員資格	2013年2月19日	
2. 高等学校教諭専修免許状（音楽）	2004年3月31日	免許番号：平15高専第2306号
3. 中学校教諭専修免許状（音楽）	2004年3月31日	免許番号：平15中専第2224号
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 財団法人ロームミュージックファンデーション音楽特別在外研究生としての調査研究活動	2005年10月～2007年9月	海外約30カ国に滞在し、多様なジャンルの音楽を研究。音楽に関わる文化、生活、環境などの様々な分野において総合的な調査を行った。また様々な音楽教育の現場に参加し、教育の方法を知る機会を数多く得た。
<b>4 その他</b>		
1. 2020年度 音楽学部専攻科 担任	2020年4月～現在	
2. 審査員	2020年1月18日～2020年1月19日	「第47回 奈良県アンサンブルコンテスト」小学校の部、中学校の部、高等学校の部、職場一般の部の審査を務めた。
3. 審査員	2019年8月4日	「第61回 奈良県吹奏楽コンクール」小学校の部、高等学校小編成の部、一般の部の審査を務めた。
4. 2019年度 音楽学部専攻科 担任	2019年4月～2020年3月	
5. FD委員	2019年4月～現在	
6. レクチャーコンサート	2019年10月5日	和室でレクチャーコンサート「アルゼンチンタンゴの世界 Vol. 2」東淀川区民会館からの依頼。アルゼンチンタンゴおよびバンドネオンに関するレクチャーを中心とした演奏会。バンドネオン独奏。主催団体の事情から今回より、参加者との文化的交流を目的とするカフェタイムを実施。
7. レクチャーコンサート	2018年9月2日	和室でレクチャーコンサート「アルゼンチンタンゴの世界」東淀川区民会館からの依頼。アルゼンチンタンゴおよびバンドネオンに関するレクチャーを中心とした演奏会。編成はバンドネオンとピアノ。
8. 関西現代音楽交流協会 事務局員	2017年4月～2020年3月	事務局長の大澤弘之氏（大阪成蹊大学教育学部教授）の委嘱による。
9. 審査員	2015年10月28日	「第48回天理中学校 音楽会」クラス合唱コンクールの審査を務めた。
10. 審査員	2014年2月	「KOSMA主催 第6回選抜コンサート こうべ♪音楽の街」2014年6月8日に東灘区民センター・うはらホールにて開催されるコンサート出演者希望者及び団体の録音審査を行った。「管・弦・打楽器部門」「声楽・ピアノ・管・弦・打楽器などのアンサンブル部門」「その他」の三部門を担当。また演奏会当日には審査員代表として壇上にて講評を行った。
11. レクチャーコンサート	2014年12月21日	「クリスマス・レクチャーコンサート in あべの」大阪市立阿倍野市民センターからの依頼。弦楽器を中心に置いた内容。講演者として楽器の種類、歴史、ヴァイオリンを採用している世界の民俗音楽等を紹介。
12. 審査員	2013年2月	「KOSMA主催 第5回選抜コンサート こうべ♪音楽の街」2013年6月30日に東灘区民センター・うはらホールにて開催されるコンサート出演者希望者及び団体の録音審査を行った。「管・弦・打楽器部門」「声楽・ピアノ・管・弦・打楽器などのアンサンブル部門」「その他」の三部門を担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. CD 『ブリュッセル・レクイエム』	共	2018年4月	ワコーレコード	吹奏楽演奏団体・土気シビックウインドオーケストラによるCD。バンドネオンと吹奏楽のための作品『優雅で感傷的なタンゴ』が収録されている。録音初演。
2. 楽譜 吹奏楽のための『タンゴ・スタディ』	単	2018年4月	ティーダ出版	吹奏楽曲の楽譜の出版。
3. 教科書 『子どもの音楽表現・うたあそび』	共	2018年2月	三学出版有限公司	滋賀短期大学准教授・柚木たまみ氏の監修による。掲載曲全ての編曲及び楽譜制作を担当。2015年4月に出版された『幼児教育・保育のうた 99曲マスター』を加筆修正した内容。 共著者氏名： 柚木たまみ 松井典子 水島育 高橋仁美 松浦伸吾 朝野典子 内田博世 遠藤玲子 小川麻里 奥

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
4. 楽譜 『奇跡の輪』	単	2017年4月	ティーン出版	戸雅子 北村英子 後藤由美子 武田優美 田中良太 種子尾由里 寺西裕子 中尾(あべ)ありか 中塚裕香 永山直子 橋本加寿 服部さやか 松澤須美 松永美穂 吹奏楽曲の楽譜の出版。2013年の奈良県立添上高等学校吹奏楽部による小編成版の初演の後に2016年に弘前大学吹奏楽団によって中編成版の改訂初演が行われた。この楽譜の内容は改訂初演時のものである。
5. CD 『展覧会の絵 Tableaux d'une Exposition』	共	2017年2月	ディスク クラシカジャパン	生水敬一郎氏と北村聡氏(共にバンドネオン奏者)によるバンドネオン二重奏のCD。バンドネオン二重奏曲『2人のためのアダージョ』が収録されている。
6. 楽譜 『27人の作曲家によるピアノ小曲集「こどもたちへ メッセージ 2016 世界のごちそう編-1」』	共	2016年4月	カワイ出版	(社)日本作曲家協議会の企画。ピアノ独奏曲『エンパナーダのサンバ』が掲載されている。 共著者氏名: 前田佳世子 中村早百合 安藤由布樹 熊澤住子 渡部賢士 加藤由美子 松浦伸吾 すずさしげお 桃井千津子 野澤啓子 山根明季子 大政直人 喜久邦博 上明子
7. 教科書 『幼児教育・保育のうた 99曲マスター』	共	2015年4月	三学出版有限公司	滋賀短期大学准教授・柚木たまみ氏の監修による。掲載曲全ての編曲及び楽譜制作を担当。 共著者氏名: 柚木たまみ 松浦伸吾 朝野典子 北村英子 内田博世 遠藤玲子 奥戸雅子 後藤由美子 中尾(あべ)ありか 中塚裕香 松澤須美 松永美穂
8. 楽譜 "Midnight" for Saxophone Quartet and Piano	単	2015年12月	Edition Matchingarts	第2回国際アルケマ作曲賞第1位及びアルケマ賞受賞作品。オンライン出版。
9. 楽譜 『IV マーチ「ベスト・フレンド」』	単	2003年1月	(社)全日本吹奏楽連盟	2003年度全日本吹奏楽コンクール課題曲の一。
<b>2 学位論文</b>				
1. 『芸術音楽創作再考 ―現代音楽における理念と社会的価値との比較を中心に―』	単	2004年3月	大阪音楽大学大学院	大阪音楽大学大学院にて修士(音楽)の学位を取得。
<b>3 学術論文</b>				
1. 『能勢の人形浄瑠璃における創造性②―文楽、淡路・阿波の人形浄瑠璃との比較を中心に―』	単	2012年12月	『音楽研究 第27巻 大阪音楽大学音楽博物館年報』 2012 17-50頁	能勢の人形浄瑠璃の活動における「地域に根ざしたコミュニケーションの活性化」を、阿波(徳島)と淡路(兵庫県・淡路島)の人形浄瑠璃や上方の素人義太夫節におけるコミュニケーション活動の事例と比較しつつ考察した。
2. 『「地域に根ざしたコミュニケーションの活性化」についての私見―一次稿『能勢の人形浄瑠璃における創造性②』に向けて―』	単	2011年12月	『音楽研究 第26巻 大阪音楽大学音楽博物館年報』 2011 16-40頁	先の論文『能勢の人形浄瑠璃における創造性①』において、能勢の人形浄瑠璃の活動にはコミュニケーションの創造と興行の成立というふたつの目的があるという推論を呈示した。この小論では、芸能を中心としたコミュニケーションの創造において重要であると認識する「都会と地方」「対人コミュニケーション」「遊芸」の3つのキーワードについて考察する。これは次に掲載する論文における概要として位置づけられるものである。
3. 『バンドネオンの演奏表現における可能性―楽器構造の視点から―』	単	2010年5月	『音楽研究 第25巻 大阪音楽大学音楽博物館年報』 2010 15-33頁	バンドネオンはアルゼンチンタンゴを演奏するための楽器として広く知られているが、筆者はこの楽器を、タンゴ以外の様々な音楽にも適応する懐の深い楽器である、と認識している。楽器構造の視点からバンドネオンと他の諸楽器とを比較・検証することで、バンドネオンの演奏表現における潜在能力を探った。
4. 『能勢の人形浄瑠璃における創造性①―文楽、淡路・阿波の人形浄瑠璃との比較を中心に―』	単	2009年3月	『音楽研究 第24巻 大阪音楽大学音楽博物館年報』 2009 20-45頁	大阪府の最北端に位置する能勢町において、現代に生きる芸能としての人形浄瑠璃の創造が行われている。その様相や態度は、文楽やその他の地域に残る人形浄瑠璃のものとは著しく異なる。伝統から様々な素材と着想を得て創造を展開する能勢の活動における現代の意味を考察した。
<b>その他</b>				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 誰でも参加できる即興合奏の実践 およびその構成方法の考察 ―「演奏行為は誰のものなのか?」という問い―	単	2018年6月	日本音楽表現学会第16回(折り鶴)大会	「演奏行為」は誰のものなのか?という問いが現れたのは2007年、筆者が某音楽財団の研究生として世界を遍歴していた時であった。「技能・技術の鍛錬及び知識の習得による質の向上を重要な価値の一つとする」西洋音楽の伝統に深く関わってきた筆者にとって、各地で発見した「そうではない」態度の存在は新鮮に映った。上手下手関係なく演奏を楽しむ人々に、そしてそれを是とし楽しむ聴衆に触れた。「演奏行為」の質ではなく「演奏行為」そのもの

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
				のに価値があったということを知った。「“演奏行為”は皆のものであって欲しい」という願いをもって2008年より、誰でも参加できる即興合奏の実践を開始した。当時も今も多分、苦手意識より演奏行為から距離を置いている人は少なくない。魅力的な音楽体験のためにどのように音楽を構成するのか、ということが重要であった。 当発表においてはこれまでの活動の総括と発展的共有を目的とした。
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
1. A portrait song No.1 for Violin and Piano	単	2019年5月	『第57回現代音楽の夕べ』 場所：トントレフ・ヒコ	作曲。ヴァイオリンとピアノ。 関西現代音楽交流協会主催公演への出品。
2. 鷗は風に降り立ち、その先	単	2019年10月	『第10回 茨木新作音楽展』 場所：茨木市市民総合センター センターホール	作曲。アルトサクソフォンとピアノ。 『第10回 茨木新作音楽展』への出品。
3. Trio for Flute, Guitar and Piano : Interlude	単	2018年9月	【C3】Vol.1 / 【立法C】第一回演奏会 場所：豊中市立文化芸術センター 小ホール	作曲。フルート・ギター・ピアノ。 自主公演のために作曲。
4. Trio for Flute, Guitar and Piano : Episode I	単	2018年9月	【C3】Vol.1 / 【立法C】第一回演奏会 場所：豊中市立文化芸術センター 小ホール	作曲。フルート・ギター・ピアノ。 自主公演のために作曲。
5. 【C3】Vol.1 / 【立法C】第一回演奏会	単	2018年9月	豊中市立文化芸術センター 小ホール	演奏会の企画・制作。 多様な音楽表現を”並置”する試み。新たな聴取体験を提示することを目標とした。 趣旨： 現在を生きる3人の作曲家による新曲の初演および旧曲の発表。 ※選曲において編成のみ制限 3人の音楽作品を演奏する音楽家が自由に選曲した作品の発表。 ※選曲において全く制限無し
6. 「優雅で感傷的なタンゴ」	単	2018年5月	ワコーレコード	作曲。バンドネオンと吹奏楽。 吹奏楽演奏団体・土気シビックウインドオーケストラ制作のCD『ブリュッセル・レクイエム』に収録。 録音初演。 バンドネオン奏者・生水敬一朗氏の委嘱。
7. Time of dewdrops IV for Clarinet in B flat, Piano and 3 sine waves	単	2018年5月	『～センチュリー豊中名曲シリーズ～ プレパフォーマンス & トーク①』 場所：豊中市立文化芸術センター 多目的室	作曲。クラリネット・ピアノ・3つのサイン波。 豊中市立文化芸術センター委嘱。
8. A short piece for Piano	単	2018年11月	『第56回現代音楽の夕べ』 場所：トントレフ・ヒコ	作曲。ピアノ。 関西現代音楽交流協会主催公演への出品。
9. 「蓮池（2018年改訂版）」	単	2018年10月	『第9回茨木新作音楽展』 場所：市民総合センター	作曲。歌とピアノ。 平成23年8月に初演された「蓮池」を改訂（ピアノ伴奏の作曲）。
10. 「邂逅 I」	単	2017年8月	『石上神宮の七夕』 場所：石上神社	”作曲。雅楽（天理大学雅楽部）、弦楽オーケストラ（天理シティオーケストラ）、マーチングバンド（天理教校学園高等学校マーチングバンド）のための音楽。扱う音楽ジャンルの異なる3つの演奏団体における音楽的融合を目的とした。 『石上神宮の七夕』実行委員長・伴戸忠三郎氏の委嘱。”
11. 「緑」	単	2017年5月	「第53回 現代音楽の夕べ」 場所：トントレフ・ヒコ	作曲。歌とピアノ。 関西現代音楽交流協会主催公演への出品。
12. 「画廊にて」	単	2017年3月	「ミュージアムコンサート 北村聡（バンドネオン ～現代美術と音楽が会おうとき）」 場所：上野の森美術館 展示室	作曲。バンドネオンとチェロ。 バンドネオン奏者・北村聡氏の委嘱。
13. ” Party I & II”	単	2016年5月	「第51回 現代音楽の夕べ」	作曲。フルート四重奏。 関西現代音楽交流協会主催公演への出品。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
14. 行進曲「池高坂」	単	2016年3月	場所：トントレフ・ヒコ 「池田高校吹奏楽部第50回定期演奏会」 場所：池田市民会館	作曲。吹奏楽。 大阪府立池田高等学校OB・OG吹奏楽団の委嘱。
15. 「エンパナーダのサンバ」	単	2016年3月	「第31回こどもたちへ-JFCキッズBOXピアノ・コンサート」 場所：紀尾井ホール	作曲。ピアノ。 (社)日本作曲家協議会主催事業への出品。公演及び出版。作曲者のピアノ演奏による初演。
16. 祝典行進曲「偉大なる風たちと共に」	単	2015年9月	「ウインドアンサンブルフィオーレ! 3rd Concert」 場所：大阪市立阿倍野区民センター 大ホール	作曲。吹奏楽。 大阪音楽大学学生有志の団体「ウインドアンサンブルフィオーレ!」による初演。
17. 「奇跡の輪（2015年改訂版）」	単	2015年12月	「弘前大学吹奏楽団第22回定期演奏会」 場所：弘前市民会館	作曲。吹奏楽。 平成25年11月に初演された小編成吹奏楽のための「奇跡の輪」を改訂。
18. 「序奏とアレグロ」	単	2015年11月	「Happy Twins Duo Recital」 場所：フェニックスホール	作曲。二挺のヴァイオリンとピアノ。 “Happy Twins”（辻本明日香・辻本恵里佳 共にヴァイオリン奏者）の委嘱。
19. 「風が吹いている ～炭坑のあった町～（嘉門達夫）」	単	2014年11月	「ゴールデンコンサート in ARAO 2014 ～精華女子高校吹奏楽部・玉名女子吹奏楽部荒尾特別公演」 場所：荒尾総合文化センター 大ホール	編曲。吹奏楽。 ゴールデンコンサート実行委員会の委嘱。
20. “Time of dewdrops II for Flute and Drone”	単	2014年10月	「第48回 現代音楽の夕べ」 場所：トントレフ・ヒコ	作曲。フルートと通奏音（任意）。 関西現代音楽交流協会主催公演への出品。
21. “Midnight for Saxophone Quartet and Piano”	単	2014年10月	“Finaleconcert 2nd International Alkema Composition Contest” venue: TivoliVredenburg, Utrecht, The Netherlands	作曲。サクソフォン四重奏とピアノ。 第2回国際アルケマ作曲コンテスト第1位及びアルケマ賞受賞。
22. 「数え歌（池田綾子）」	単	2014年10月	「第56回近畿音楽教育研究大会奈良大会」 場所：奈良県文化会館 国際ホール	編曲。合唱付二管オーケストラ。 第56回近畿音楽教育研究大会奈良大会事務局より委嘱。演奏者は奈良県下の幼稚園児・小学生・中学生及び高校生。
23. 「愛燦々（美空ひばり）」「川の流れるように（美空ひばり）」「真っ赤な太陽（美空ひばり）×リベルタンゴ（A. ピアソラ）」	単	2013年3月	安達朋博 ピアノリサイタル 場所：アミティ丹後多目的ホール	編曲。二台のピアノ。 日本クロアチア音楽協会代表のピアニスト・安達朋博氏の委嘱。作品は初演の後も度々再演されている
24. 「奇跡の輪」	単	2013年11月	「奈良県高等学校総合文化祭 吹奏楽部門演奏会」 場所：奈良県文化会館	作曲。小編成吹奏楽。 主顧問及び指揮者を務めた奈良県立添上高等学校吹奏楽部のために作曲。新作初演を経験させるという教育目的のため。
25. ”ACFA～opening act～” ”Curta in Fall～end roll～” ”Cadence Call” ”Force”	単	2013年1月	「アーマード・コア サウンドコンサート2013」 場所：アルカスホール メインホール	編曲。合唱付き管打鍵盤楽器合奏編成。 大阪電気通信大学からの依頼。
26. 「2人のためのアダージョ」	単	2012年8月	「生水敬一郎&北村聡 バンドネオンデュオ」 場所：こまつ芸術劇場 うらら 小ホール	作曲。二台のバンドネオン。 バンドネオン奏者・生水敬一郎氏の委嘱。
27. 朗読劇「つららの棒や」	単	2012年2月	「とやま子守唄フェスタ2012」 場所：富山国際会議場3階メインホール	作曲。ヴァイオリン・ピアノ・バンドネオン・クラリネット他。 NPO法人日本子守唄協会の委嘱により作曲。青木新門氏の原作、常田富士男氏の朗読による音楽付き朗読劇。
28. 「古都の挿話」	単	2012年11月	「Clarinet & Flute Duo Concert」 場所：学園前ホール	作曲。フルートとクラリネット。 クラリネット奏者・笠井裕正氏の委嘱。
29. 「大阪府立池田高等学校校歌」	単	2012年11月	「大阪府立池田高等学校創立70周年記念式典」 場所：池田市民文化会館 アゼリアホール	編曲。吹奏楽。 母校の大阪府立池田高等学校の創立70周年記念事業のひとつとして委嘱。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
30. 「蓮池」	単	2011年8月	「うたはかたりかける 三」 場所：大阪市中央公会 堂 中会議室	作曲。歌と任意の鍵盤楽器。 自主公演のために作曲。
31. 「絆うた」	単	2011年8月	「うたはかたりかける 三」 場所：大阪市中央公会 堂 中会議室	作曲。歌とピアノ。 自主公演のために作曲。
32. 「うたはかたりかける 三」		2011年8月	大阪市中央公会堂 中 会議室	演奏会の企画・制作。 日本歌曲の演奏と華道作品の展示及び華道の実演に よる会。企画・制作・運営・作曲・編曲及び演奏（ ピアノ、リードオルガン及び鍵盤ロックンシュビ ール）を担当。
33. 「鷗よ、風と共に海原へ」	単	2011年6月	「篠原康浩サクソフォ ンリサイタル2011」 場所：兵庫県立芸術文 化センター 神戸女学 院小ホール	作曲。サクソフォンとピアノ。 サクソフォン奏者・篠原康浩氏の委嘱。
34. 「霧中の紅」	単	2011年11月	「日本現代音楽協会創 立80周年記念事業 現 音・特別音楽展2011 世界に開く窓～古応今 来」 場所：東京オペラシテ ィ リサイタルホール	作曲。二挺のヴァイオリンとピアノ。 第28回現音作曲新人賞入選及び富樫賞受賞。
35. 朗読劇「雨の日も晴れ男」	単	2010年2月	「ささらぎコンサート 」 場所：大牟田文化会館 小ホール	作曲。ヴァイオリン・ピアノ・バンドネオン他。 大牟田市社会福祉協議会の委嘱により作曲。俳優・ 常田富士男氏の朗読による音楽付き朗読劇。
36. 「銀杏橋・水面の踊子」	単	2010年12月	「大阪大学吹奏楽団第4 0回定期演奏会」 場所：吹田市文化会館	作曲。大編成吹奏楽。 大阪大学吹奏楽団の委嘱。
37. 朗読劇「鯛女房」	単	2010年10月	「図書館百周年記念事 業 常田富士男さんと 唐津の民話」 場所：唐津市近代図書 館	作曲。ヴァイオリン・ピアノ・リードオルガン他。 唐津市近代図書館の委嘱により作曲。俳優・常田富 士男氏の朗読による音楽付き朗読劇。
38. 朗読劇「唐津かんね」	単	2010年10月	「図書館百周年記念事 業 常田富士男さんと 唐津の民話」 場所：唐津市近代図書 館	作曲。ヴァイオリン・ピアノ・フルート・サクソフ オン他。 唐津市近代図書館の委嘱により作曲。俳優・常田富 士男氏の朗読による音楽付き朗読劇。
39. 「うたはかたりかける 二」		2010年1月	神戸酒心館ホール	演奏会の企画・制作。 日本歌曲の演奏と書道作品の展示及び書道の実演に よる会。企画・制作・運営・作曲・編曲及び演奏（ ピアノ及びリードオルガン）を担当。
40. 「幻」	単	2010年1月	「うたはかたりかける 二」 場所：神戸酒心館ホー ル	作曲。歌とピアノ。 自主公演のために作曲。
41. 「雪」	単	2010年1月	「うたはかたりかける 二」 場所：神戸酒心館ホー ル	作曲。歌・ピアノ・リードオルガン。 自主公演のために作曲。
42. 「時雨堂無う夢」	単	2009年6月	「日本リードオルガン 協会奈良大会リードオ ルガン演奏会 ～1300 年目の風の音～」 場所：奈良女子大学 佐保会館	作曲。2台のリードオルガン。 日本リードオルガン協会の委嘱。
43. “Time of dewdrops for celesta ”	単	2009年6月	“200 Jahre Schiedmay er in Stuttgart” venue: Konzertsaal d er Hochschule für Mus ik und Darstellende K unst Stuttgart, Germa ny	作曲。チェレスタ。 第3回シートマイヤー国際チェレスタ作曲コンクール 入賞（順位無し）。
44. 「宿花王」	単	2009年5月	「うたはかたりかける 一」 場所：白鷹緑水苑 宮 水ホール	作曲。歌とピアノ。 自主公演のために作曲。
45. 「泡沫のみち」	単	2009年5月	「うたはかたりかける 一」 場所：白鷹緑水苑 宮 水ホール	作曲。歌とピアノ。 自主公演のために作曲。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
46. 「うたはかたりかける 一」	単	2009年5月	白鷹水苑 宮水ホール	演奏会の企画・制作。 日本歌曲の演奏と日本画作品の展示による会。企画・制作・運営・作曲・編曲及び演奏（ピアノ及びリードオルガン）を担当。
47. 「ひらみかなる」	単	2009年1月	「太田真紀＋河合拓始 Duo Live」 場所：公園通りクラシックス	作曲。声とピアノ。 ソプラノ歌手・太田真紀氏の委嘱。
48. 「波間（なみあい）の輝きから、 鷗たちは・・・ -Memory of Mairuru Bay-」	単	2008年3月	「京都府立東舞鶴高校ウインドアンサンブル部 第24回定期演奏会」 場所：舞鶴市総合文化会館	作曲。大編成吹奏楽。 京都府立東舞鶴高等学校ウインドアンサンブル部の委嘱。
49. 「天吊り海・潜り月」	単	2008年12月	「第10回大阪音楽大学トランペットアンサンブル定期演奏会」 場所：ザ・カレッジ・オペラハウス	作曲。14本のトランペット。 大阪音楽大学音楽学部器楽科トランペット専攻の委嘱。
50. " Concert of classical music of The Bangalore School of Music"		2007年7月	The Bangalore School of Music East West Center, Bangalore, India	演奏会の企画・制作。 (財) ロームミュージックファンデーション音楽特別在外研究生としての研究活動のひとつ。企画・制作・編曲及び演奏（サクソフォン及びバンドネオン）を担当。
51. " An evening of music in tribute to Pattabhi Rama Reddy and Indo-Japanese Friendship"		2007年7月	The Alliance Francaise, Bangalore, India	演奏会の企画・制作。 (財) ロームミュージックファンデーション音楽特別在外研究生としての研究活動のひとつ。企画・制作・編曲及び演奏（サクソフォン及びバンドネオン）を担当。
52. 行進曲「若き眼差し」	単	2007年12月	「立命館大学応援団吹奏楽部第44回定期演奏会」 場所：京都コンサートホール	作曲。吹奏楽。 行進曲の可能性を研究。立命館大学応援団吹奏楽部との縁により初演の運びとなった。
53. " Green Angels Concert in UNIMAS"		2006年8月	UNIMAS (Universiti Malaysia Sarawak), Kuching, Sarawak, Malaysia	演奏会の企画・制作。 (財) ロームミュージックファンデーション音楽特別在外研究生としての研究活動のひとつ。企画・制作・演奏（ピアノ及び三味線）・合唱指導及び指揮を担当。
54. " Green Angels Chality Concert in Malaysia 2006"		2006年8月	Mardeca Palace Hotel & Suite, Kuching, Sarawak, Malaysia	演奏会の企画・制作。 (財) ロームミュージックファンデーション音楽特別在外研究生としての研究活動のひとつ。企画・制作・編曲・演奏（ピアノ及び三味線）及び指揮を担当。
55. 「祝典のための序曲」	単	2004年9月	「関西ファンファーレオーケストラ」 場所：大阪府立青少年会館	作曲。ファンファーレオーケストラ。 ファンファーレオーケストラ編成（サクソフォン・金管楽器・打楽器で構成される管楽合奏）の研究。
56. 「関西ファンファーレオーケストラ」		2004年9月	大阪市立青少年会館文化ホール	演奏会の企画・制作。 オランダやベルギーにおいて有名な管楽合奏「ファンファーレバンド」の演奏会。日本人として初めての試みであったと認識している。企画・制作・運営・作曲・編曲及び指揮を担当。
57. 「深遠な青へと導く奇跡」	単	2003年6月	「オペラハウス管弦楽団 第31回定期演奏会」 会場：ザ・カレッジ・オペラハウス	作曲。二管編成オーケストラ。 オペラハウス管弦楽団の委嘱。
58. マーチ「ベスト・フレンド」	単	2003年1月	(社) 全日本吹奏楽連盟	作曲。吹奏楽。 2003年度全日本吹奏楽コンクールにおける課題曲として出版。
59. 「裸像」	単	2002年10月	「第71回日本音楽コンクール作曲部門本選会」 会場：東京オペラシティ コンサートホール	作曲。ヴァイオリンと三管編成オーケストラ。 第71回日本音楽コンクール作曲部門第2位を受賞。
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 「「時雨蛩舞う夢」、リードオルガンの叙情」	単	2010年10月	『日本リードオルガン協会発行 ニューズレター No. 29』	日本リードオルガン協会からの依頼原稿。2010年6月3日に奈良女子大学構内佐保会館2階ホールにて開催された「日本リードオルガン協会奈良大会リードオルガン演奏会 ～1300年目の風の音～」における拙作「時雨蛩舞う夢」の初演及びリードオルガンの現代的価値に関する内容を執筆。
2. "Brillante"	単	2009年11月	『大阪音楽大学広報 M use 2007年12月号 Vol	財団法人ロームミュージックファンデーション音楽特別在外研究生としての研究活動についての記載。



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
			.196』	
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年6月	賞 ISCM (国際現代音楽協会) 「世界音楽の日々2017 パンクーパー大会」 入選
2. 2017年4月～2020年3月	関西現代音楽交流協会 事務局員
3. 2015年5月～現在	日本音楽表現学会 会員
4. 2015年4月～現在	日本音楽教育学会 会員
5. 2014年9月～現在	(社)日本作曲家協議会 会員
6. 2014年10月	賞 第2回国際アルケマ作曲賞 第1位及びアルケマ賞
7. 2012年10月～現在	関西現代音楽交流協会 会員
8. 2011年11月	賞 第28回現音新人賞 富樫賞
9. 2009年6月	賞 第3回シートマイヤー国際チェレスタ作曲コンクール 入賞
10. 2002年6月	賞 2003年度全日本吹奏楽コンクール課題曲公募 入選
11. 2002年10月	賞 第71回日本音楽コンクール作曲部門 第2位